

プロジェクトについて

「AIZUGATA-Graphics（会津型グラフィックス）」は、福島県会津地方に眠る喜多方の染型紙「会津型」の魅力的なデザインを現代風にアレンジして商品化するプロジェクトです。

喜多方の染型紙「会津型」について

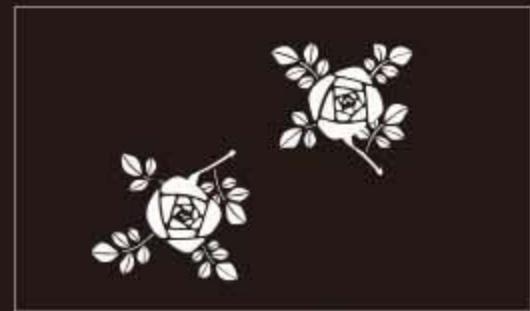
江戸時代から着物の柄を染めるため使われてきた染型紙（そめかたがみ）。伊勢白子や京都、江戸に並ぶ一大産地として喜多方（福島県会津地方）にも染型紙文化があり、東北地方の服飾文化に寄与していました。

しかし、海外からの技術の流入により100年以上続いてきた喜多方の染型紙「会津型」の歴史は1935年（昭和10年）その幕を閉じました。



<写真>会津型常設展示場 「喜多方 蔵の里」

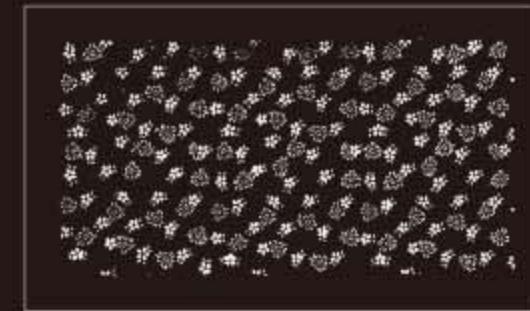
喜多方の染型紙（福島県指定重要民俗文化財「会津の染型紙と関連資料」）



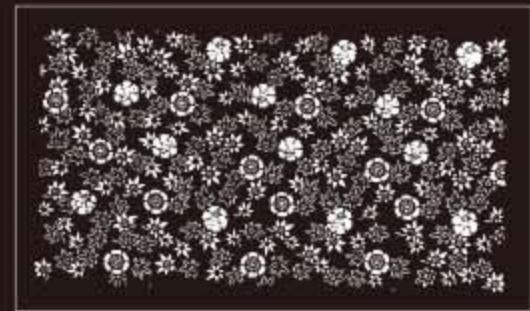
19669 薔薇



24966 薔薇



14916 桜づくし



36465 紅葉と雪輪に松と雨龍

喜多方市役所 教育部(教育委員会) 文化課 文化振興班 TEL:0241-24-5323 Fax:0241-25-7075 URL <https://www.city.kitakata.fukushima.jp/>

プロジェクトデザイナーについて

「AIZUGATA-Graphics」プロジェクト第1弾の制作にあたり、福島県出身（東京在住）の3名に喜多方の染型紙「会津型」をベースとしたエプロンのデザインをお願いしました。



増田 有美子（福島県喜多方市出身）

カーシーカシマ株式会社

社長室 常務

～ユニフォームで女性を輝かせたい～

レディースを中心としたユニフォームの製造・販売を行なうカーシーカシマ株式会社で企画を行なう。会津の文化を通してのづくりの素晴らしさを発信する為、産まれ故郷でもあり、工場と物流センターのある福島県喜多方市にゆかりのある本プロジェクトに賛同する。



荒川 広志（福島県郡山出身）

株式会社ユニフォームネット 代表取締役社長

～ユニフォームで地域社会を元気にする～
福島県郡山市出身。都内の大学を卒業後、ユニフォームメーカーにて修行。2002年父親が福島県で創業した㈱ユニフォームネットに入社。2006年東京進出。震災翌年の2012年3月に社長に就任。



書家 根本 みき（福島県白河市出身）

～書を通じて、人と笑顔のつながりを。～
福島県白河市出身で、自然に囲まれた環境で学生時代を過ごす。幼少期から続ける習字の可能性を広げる為、2015年に生まれ育った故郷を離れ、上京と同時に「書道家 みらい」として独立。その後、2018年5月に「根本 みき」へと改名。
書を通じて、人と笑顔のつながりを増やしたい想いで、日々様々な活動に取り組んでいる。



AG-01 AG-02 AG-03 AG-04



AG-05 AG-06 AG-07 AG-08



AG-09 AG-10

リターン品について



実行者の最新投稿

- 【マクアケ限定】AIZUGATA-Graphicsパンフレット 1,000円コース（税込）
- 限定 10 【早割 10%OFF】会津型エプロン（KARSEE_MASUDA デザイン）4,480円コース（税込）
- 限定 10 【早割 10%OFF】会津型エプロン（ARAKAWA デザイン）4,480円コース（税込）
- 限定 5 【早割 10%OFF】会津型エプロン（書家 根本みきデザイン）4,480円コース（税込）
- 【マクアケ限定】会津型エプロン（KARSEE_MASUDA デザイン）4,980円コース（税込）
- 【マクアケ限定】会津型エプロン（ARAKAWA デザイン）4,980円コース（税込）
- 【マクアケ限定】会津型エプロン（書家 根本みきデザイン）4,980円コース（税込）
- 【支援者オリジナルデザイン】会津型エプロン制作！ 1デザイン × エプロン 3枚セット 30,000円コース（税込）